

# とよなか 環境



## ニュースレター

発行：NPO法人とよなか市民環境会議『エナ』21  
編集責任者：奥野 享  
事務局：豊中市環境情報サロン内  
〒561-0804 豊中市曾根南町1-4-3  
Tel:06-6863-8792 Fax:06-6863-8734

### この号のハイライト

P.1 環境展/P.2 冬鳥観察会/  
P.3 とよっぴー野菜市/P.4~  
5 環境展、エコアイデア見学会、  
環境とわたし/P.6 省エネ学習  
会/P.7 とよなか市民環境会議  
/P.8 今後のスケジュール

2010年(平成22年)春号 NO.30 (通巻第48号)

## 環境展 - 25%、10年後の生活を想像する

### ‘電気自動車’ と ‘自転車のバランス王座決定戦’ と

一方では時速130キロも出せるという電気自動車の展示に感心。家庭の電源に一晩繋げば、14時間の充電で160キロは走れるそうです。リチウム電池の搭載ですが、量産で安くなれば実用化間違いなし。しかも省エネ度もうんと高いそうです。



もう一方、自転車でのバランス王座決定戦には子どもたちが熱中。幅3メートルと5メートルに区切ったスペースでゆっ

くり端まで行きつく時間を競っていました。最長不倒時間は1分30秒だったとか。省エネ社会に向け自転車の快適さを見直さなければ。

### 豊中の稀少動物たち

豊島北ビオトープクラブは、豊中でほとんど見られなくなった水辺の稀少動物を見せてくれました。タイコウチ・サワガニ・シマゲンゴロウ・コ



オイムシ・イモリたちが、それぞれガラスの水槽の中に。触るのも自由というのでそっと手を出す子ども達…。

### とよっぴー野菜も好評

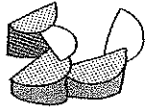
2日目にはすっかり評判になっているとよっぴーで育てた野菜の店が、正面の入口の前に出されました。手作りで作られた大根の浅漬けも好評で、夕方までには全部完売。とよっぴーで育てたおいしい野菜の人氣が最近はずっかり定着しているようです。



### 数字で見た環境展

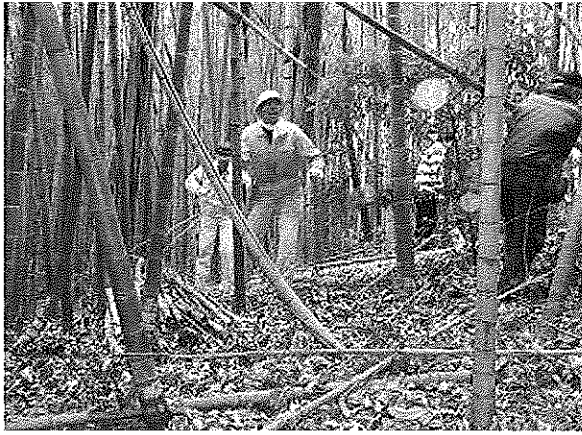
来場者は、2日間で3300人でした。

小中学生と先生1197人/一般大人527人/子ども450人/市民文化祭650人/主催者関係スタッフ203人/出展団体スタッフ273人/スタンプラリー参加396人/とよか配布、省エネ相談190枚、電車バスで来場42枚、エコライフミニチェック52枚、廃油回収34枚/飲食コーナー食券販売、カレー93枚、焼きそば146枚、わたがし183枚、しじみ汁78枚、コーヒー156枚/出展団体50団体/穴あきパネル使用98枚/机の使用あるだけ全部。



自然部会

## 島熊山緑地で竹間伐 3年目に入る



今年初めての島熊山緑地での竹間伐作業は1月8日、27人の参加で行われました。各グループに分かれ、枯れて倒れた竹を切りそろえ、枝払いし積み上げる作業を主にしました。生きた竹と異なり、枯れ竹はノコギリでも切りにくく大変でしたが「やっ

ただけきれいになる」手応えがあります。昨年の台風18号で林内のアカマツが倒れ、コナラの大枝が折れたり立ち枯れの竹が軒並み倒れたりと被害は甚大でしたが、少しずつ片付き、森も落ち着いてきました。

アジェンダ21も構成団体になっている島熊山緑地協議会が発足して3年。この間に、花王の助成金でノコギリやナタ、刈払機等の道具がそろい、毎月の活動も着実に進められています。また、市の協力で立派な案内板も作られ、昨年暮れに苦心して完成した自然観察路と併せ「自然学習の森」としての条件も整えられてきています。豊中在来の動植物の保全に努め、自然学習・里山体験の森として活用する理想に一步步近づいています。

今年も地元自治会、自然保全団体、豊中市、参加市民と協働で、地域に密着した活動が展開できるよう、汗と知恵をしぼりたいと思います。(易信子)

## 冬鳥観察会

今年も緑地公園の3池を廻ることにした。参加者は全体で60名。あいさつの中で今年飛来した珍しい鳥ヒクイナ、サンカノゴイやヨシガモについて写真を見ながら紹介をした。

最初の新宮池ではたっぴりと時間をとり、カモやサギをスコープ3台を使って見てもらった。子どもが見た後、親が覗いてきれいに大きく見えるということでも喜んでる。

次のうづわ池ではサンカノゴイが居なくなっていたが、目の前でオナガガモやハシビロガモの大群を見ることが出来た。姿に特徴のある2種だが餌をもらえるかと近寄ってくる。

民家集落のうしろを通るとルリビタキが、そして日本庭園の近くでは、思いがけずアオバト2羽が地面で採餌していた。

山ヶ池に到着したがヒクイナは見当たらない。しばし近くでヨシガモを見ながら時間つぶしをして約10分後に戻ると、いた！ ヒクイナが葦原から出てきた。急いで皆を呼びじっくりと見てもらった。本来夏鳥だが近年は国内に留まるのもいる。昼近く

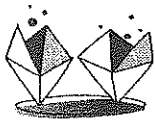
になったので足を速め白鳥橋の上から観察、遠くにオカヨシガモなどが見えた。

鳥合わせをすると、水鳥はカモが8種、サギは3種、ヒクイナ、カワセミなど18種類。

陸鳥はアオバト、ルリビタキ、シロハラ、ウグイスなど16種類。

珍しい鳥や種類数も沢山出たので楽しい観察会であった。(三宅史郎)





花と緑のネットワークとよなか

## また一つ広がった循環の輪



花と緑のネットワークでは、“とよっぴー”を使って育てた野菜のおいしさを知ってもらうとともに、「学校給食から出た生ごみからできた“とよっぴー”で育てた野菜を豊中市民が食べる」という食の循環

活動として野菜販売の活動を行なっています。

毎月1回くらいしか定期的に販売していますが、昨年の12月から他の場所でも販売をはじめました。

そして2月から、さわ病院さんのご好意により、城山町にある病院の敷地の一角をお借りして販売を行なうことができるようになりました。販売日の朝、10年以上前から農薬や化学肥料を一切使わずに作っておられる農家の野菜や、できるだけ農薬や化学肥料を使わずに“とよっぴー”をたっぷり入れた土で育った野菜がずらりと並び開店準備完了です。

開店を待ちかねた方たちがぞくぞくと集まってこられ、開店後あっという間に用意をした野菜が売り切れ、生産者に電話を入れて追加

の野菜を取りに行くという盛況振りでした。

とよっぴーを使った循環の輪がまた一つ大きく広がります。3月から毎月第4木曜日の10時にさわ病院で開催します。 (茨木かづ子)

## パナソニックNPOサポートファンドの助成事業が終了

### 基盤整備へ一定の前進

花と緑のネットワークでは昨1年、パナソニック株式会社が社会貢献事業の一環として行っているNPO等市民活動の助成金採択を受け、いろいろな取り組みを進めてきました。

これまでは主として多様な活動はほとんど費用を徴収せずに行ってきましたが、組織基盤を継続的に確立するため、可能な活動は収益(受益者負担)をリンクさせて財政面から強化するとともに、寄付金の確保や賛助会員の拡大に加えブログを開設して発信力を高めるなどの努力を行い、当初の目標に対し約75%に近い達成率を実現しました。

何よりの成果は、組織の中に使命達成のためのツールの必要性が認識され、また、資金確保の知恵や工夫のための

意見や提案がなされてきたことです。

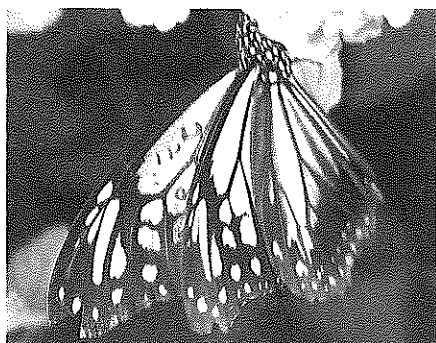
小さなプロジェクトですが、この取り組みの結果、協力農家の広がりや地産地消活動の恒常的・継続的な活動できるようになったことや「とよっぴー」の人気のますます高まるなどの効果も現れました。

なお、堆肥化施設に併設した「とよっぴー農園」の活用を広げるため、現在、市の方と協議を進めており、これがもし実現すれば「農と食の体験事業」がさらに発展する可能性が生まれます。(中村義世)



さる2009年1月30日、東京臨海副都心にある「パナソニックセンター東京」のホールにおいて「Panasonic NPOサポートファンド 2009年 贈呈式」を開催しました。当日は78名が参加し、選考委員長の総評や、講演「助成金をNPOの財政基盤の強化に活かすには」、助成が決定した23団体の活動内容や助成事業のご紹介、そして事務局関係者も含めた懇話会と続き、貴重な交流の場となりました。2009年の助成事業は、応募総数276団体のなかから、子ども分野12団体(うち3団体は推薦助成)、環境分野11団体が選ばれています。

## 本州を縦断する蝶に感動



自然部会では、1年かけて集めた虫の写真が75枚もボードに並んでいます。集まった写真はもっと

多く1590点。

### —珍しい品種がありましたか？

「珍しい虫ではないのですが、庭の植木鉢に植えていたフジバカマの花を、上空を移動中の蝶〈アサギマダラ〉が見つけて降下し、しばしの休息をしていたのを撮影しました」と言う話を聞く。

羽根にマーキングがあるので、記号を頼りに問い合わせたところ、1カ月前の10月15日に福島県で放された蝶だと分かったそうです。蝶は沖縄あたりまで旅するのでしょうか、日本列島を縦断する蝶の写真に見入り、ちょっとした感動を覚えました。

## ネイルアートは時間オーバーまで

女の子に人気があったのはネイルアート。自動車教習所の方が趣味で用意した材料を持ち込み、爪にエナメルを塗り星をちりばめたり花を描いたり、本格的です。2日目の夕方まで行列が続いていました。

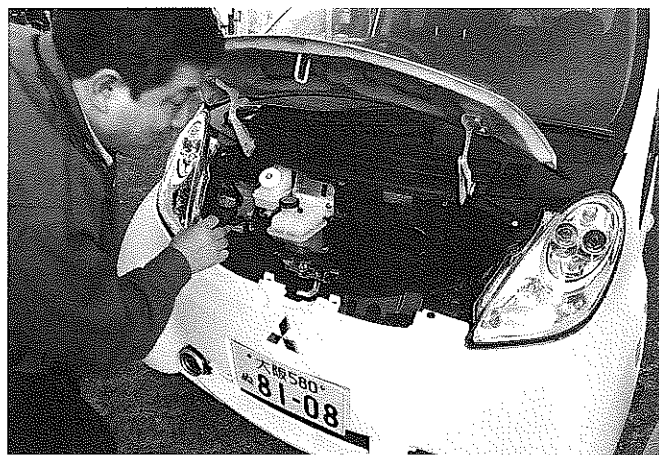


### 事業部会

事業部会では、環境面で先進的に取り組まれている企業などを見てもらおうと見学会を開催しています。今回は1月27日(水)にパナソニックホームアプライアンス社草津工場を訪れました。「エコアイデア工場びわ湖」として、モノづくりと商品の両面からの環境配慮と社内の環境整備や周辺地域への環境配慮などにも熱心に取り組んでおられることがよくわかりました。

また、冷蔵庫の製造ラインを丁寧に案内していただき、コンピューターと人がうまくコラボレーションした最新のやり方で、何種類もの機種を同時に生産される姿を見ることができました。

## 小型の電気自動車に感心



小型の電気自動車が関西電力のテントの前に置かれていました。

—「リチウム電池が使われているので軽いと聞きましたが、何時間くらい走れますか。」

車の能力からは三菱自動車のこの車は、最高速度は130km、一杯に充電したら160kmぐらいは走れます。

また100ボルトの電源で充電するなら14時間位で満タンに。200ボルトの急速充電なら30分で満タンだそうです。業務用に十分間に合いそう。

—省エネ車だというのはなぜですか。

電気でモーターを回し走るのですから、ガソリン

## エコアイデア工場見学会

今回見学をさせていただいたパナソニックホームアプライアンス社は2年程前まで豊中にあり、当事業部会でも大変お世話になっていた企業です。郊外の広々とした地に建てられたすばらしい環境の工場を見せていただき、移転されたことに納得できた思いがしました。

でも豊中の地で長年育まれた企業が、他の地に出て行かれることはやはり寂しい思いがします。住民と企業が一緒に、「環境に配慮した住みよい町豊中」を作り上げていけるようお手伝いすることが私たちの役割ではと改めて感じさせられる見学会でした。

(茨木かづ子)

# 境展2009

蛍光管の中にLEDの光る小さなライトが2列に規則正しくならんでいました。

## 生活部会でもLED電球の比較

生活部会の展示スペースでも、昨年までの白熱灯と蛍光灯の比較に加え、LED電球も点灯していました。寿命は長いのですが価格は5000円ほどでかなりの出費です。もう少し安くなればと溜め息。

## 目立っていたLEDの照明

今年もう一つ目立っていたのは、LEDの照明が大集会室の展示で輝いていたことでした。早速出展している東神電気の方に話を聞きました。

——近未来の照明といわれるLEDの特徴はなんで  
すか？ 「第1に、白熱灯のように熱ならず、エネルギーの大半が光に変えられ、無駄がありません。第2に、白熱球は光源になるタングステンが熱で劣化します。蛍光灯もグローランプを合わせ劣化が早く短い寿命です。LEDは半導体の作る光で、消耗しにくく可視光線だけしか出さず、42%もエネルギーが少なく、4万時間も長持ちします」



## マイバッグにお絵かき



大阪北生協は広い机を置いてマイバッグ作り。数人の子どもたちが挑戦中でした。

型抜きプラスチック板を使い、生成りの白い袋にマーカーで模様を刷りこむのです。もちろん自分らしい絵を描く子もあり、とても人気のコーナーでした。楽しい工作教室ですから…。動物の模様や、花模様、ハートマークなどが色とりどり。できあがった作品を明日から学校へ持っていくのに使うのだとか。お母さんが横で嬉しそうに見ていました。

## 環境とわたし

### 《24》 水野勝好さん

#### 花と緑のネットワークとよなか

近所の方から「とよっぴー」は良い堆肥という声を耳にしたのが、私が活動にかかわるきっかけでした。ちょうど、一昨年の農業祭で早速「とよっぴー」の購入に伺い、と同時に入会の意思を伝え、現在に至っています。

サラリーマン人生退職の後、趣味と実益（健康維持）を兼ねて「にんにく」を育てることに親しんできました。

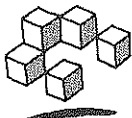
最高の「にんにく」づくりを研究・実践しており、そこにぴったりの「とよっぴー」に出会うことができ、そこから資源循環の活動にも深く関心をもつよ

うになりました。

家と会社の行き帰りの世界では、環境への意識はあっても、なかなか実行に移すことはできません。

「とよっぴー」を通じて今では、家庭の生ごみを堆肥にして花を育てることや「にんにく」にも活用していくことをめざすようになり、人間も何かを契機に変化することを実感する日々です。





生活部会

## 出前学習 幼稚園の保護者といっしょにごみ問題



1月21日朝10時からゆたか幼稚園の保護者会の集まりに出前講座。参加者28人といっしょにクイズ形式でごみについての学習会を行いました。

「マータイさんが言ったことは『もったいない』は何語でしょう」からはじまり、ちょっと難しい3R（リデュース・リユース・リサイクル）についてのクイズ。

「いちばん大事なのがリデュース」だということも、多くの方が正解に手をあげていました。

講師を務めた新開悦子さんからは具体例をあげ、ていねいに話されます。

「買い物袋を持っていき、余分なものはもらわないのがリデュース」

「子どもの服が小さくなったら、友人や親せきの子に使いまわしをするのがリユース」

「ペットボトルが溶かされて繊維になり、作業服になるのは、リサイクル」——と、分かりやすい説明でした。

設問の中には「傘が古くなって使えないのは、ごみ袋に入らないので粗大ごみで出す——は本当か嘘か」というような、実際的な問題もありました。答えは「傘は袋からはみ出しているても不燃ごみでOKです」と親切なクイズもあります。

やさしい口調で分かりやすい説明、それにクイズの問題をA3の紙に大きく書いたものを持って行ったので、それを上に掲げて持つ役を松本健治さんが引き受け、皆で助け合って行った出前学習でした。

最後に、皆さんに配ったエコライフカレンダーのPRもちょっぴりさせてもらい、与えられた45分を密度の高い学習会にすることができました。

(奥野)

## 家庭の省エネについて裏わざの話などを聞く

1月21日午後1時30分から、生活情報センターくらしかんで、鈴木靖文さん（ひのでやエコライフ研究所長）を招き、「あなたも省エネの達人」と題した学習会を開きました。参加者25人、話を聞いた後も、お茶を飲みながら膝を交えての懇談で、いろいろ楽しい交流もできました。

国立環境研究所のデータによると、家庭から出される二酸化炭素の内訳では動力他が32%と最も多く、気づきにくいのは給湯装置で14%を占めてい



**環境クイズ** 海面上昇は温暖化で氷が溶けるからだと思われがちだが、それよりも大きな要因がある、というのはホントかウソか。

(こたえは8ページ)

ることでした。暖房が12%に比べ、冷房が2.4%と少ないのは最近よく知られています。これは期間が短いことにも関係します。こうしたミニ知識はエコライフカレンダーの中にも載せていて参考になります。どうぞご活用ください。

(奥野)

# 第3回「とよなかエコ市民賞」贈呈しました

環境への負荷の低減や自然との共生、快適環境の創造などに自主的、積極的に取り組んでいる団体を表彰する、「とよなかエコ市民賞」。創設して第3回目となる平成 21 年度（2009 年度）は、4 団体が選ばれました。

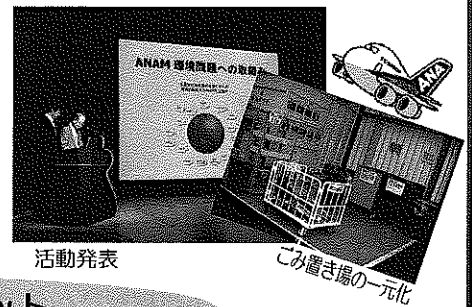


## 第3回 受賞団体紹介♪



### 全日空整備株式会社

平成 17 年度(2005 年度)に「地球環境チーム」を新設し、環境問題に関する活動を始めました。翌年には「eco-eco 活動」を行い、前年度と比較して電気使用量を 11%削減、水道使用量の 34%を削減しました。また、ごみの分別方法のわからないごみなどには「?(はてな)ボックス」を設置するなどの工夫をこらし、全社員で楽しみながら活動しています。

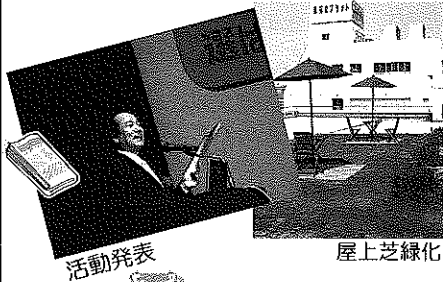


活動発表

ごみ置き場の一元化

### 株式会社日刊オフセット

平成16年(2004年)に独自の環境方針を制定し、年度毎に環境方針を見直し、環境保全・循環型社会の促進に積極的に取り組んでいます。平成 17 年(2005 年)に関西の新聞印刷工場ですべて「ISO14001」に認証され、平成 16 年度(2004 年度)から平成 20 年度(2008 年度)にかけて約 26%のCO<sub>2</sub>排出量を削減しました。

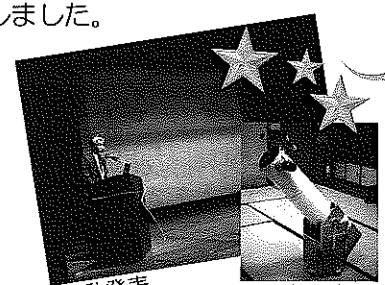


活動発表

屋上芝緑化

### 豊中天文協会

子どもたちを中心に天体観望の機会を提供し、宇宙や自然への関心を育てると共に、環境教育の推進に寄与することを目的としたボランティア団体です。小学校や地域での天体観望会に天体観測指導員を派遣したり、天体観望会を開催しており、これまでに 11 万人以上が参加しています。

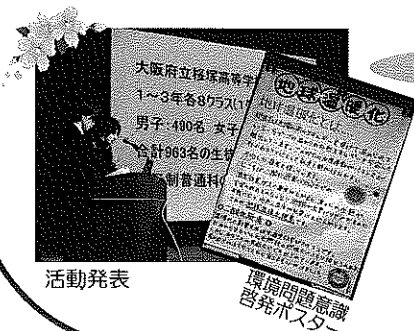


活動発表

スターダストボックス 2号機(天体望遠鏡)

### 大阪府立桜塚高等学校 生徒保健委員会

各クラスの生徒保健委員が中心となって、学校の中でごみの少量化・分別活動などに取り組んでいます。平成 18 年度(2006 年)、平成 19 年度(2007 年)の学校保健委員会では、生徒保健委員会が行った「身近な環境を考える」アンケート調査の分析結果発表や意見交換をし、環境問題意識啓発活動を行いました。



活動発表

環境問題意識啓発ポスター

とよなか市民環境会議では、とよなかエコ市民賞を通して、環境活動の模範となる団体を表彰、紹介することにより、環境的に持続可能なまちづくりに向けた行動の輪が広がることをめざしています。次回エコ市民賞は平成 22 年(2010 年)夏頃募集する予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

☎環境政策室 ☎6858-2128

## スケジュールのお知らせ

📷 写真による豊中の”むし”調べ  
調査員募集説明会と体験撮影会  
4月17日(土) 13時30分~16時30分  
豊中市立庄内公民館

📷 機密書類リサイクル  
参加企業(事業所)募集中  
4月20日(火) 13時~14時  
豊中市伊丹市クリーンランド

📷 アジェンダ総会  
6月16日(水) 午後(時間は未定)  
豊中市立市民会館 大集会室

📷 竹きり体験(3月~6月)  
竹炭焼きと窯だし(3月~6月)  
毎月実施します。 9時~12時  
千里中央公園 詳しくは事務局まで

📷 おもちゃ病院(4月~6月)  
第2土曜日 10時~12時  
(受付は11時30分まで) 環境情報サロン

📷 とよっぴー有料頒布(3月~6月)  
第2土曜日&第4水曜日 10時~11時  
緑と食品のリサイクルプラザ

## 編集室から

▼千里川を歩いていて川鵜のオスを見かけた。中国の芝居のように白く猛々しい顔である。見ていて青森の無農薬林檎の栽培家木村秋則さんを思い出してひとり笑う。林檎につく害虫は草食系でかわいい顔だがそれを食べる益虫は肉食系の獰猛な顔をしていた。(Z)

▼冬鳥観察会に参加。鳥たちが沢山来ていました。ゴイサギと幼鳥、カモやウグイスが間近かで見られて良かったです。ヒクイナやアオバトは、はじめて見ました。ルリビタキをカメラでのぞくとその美しさに感動しました。鳥名や特徴を教えてもらって勉強になりました。(H)

▼究極にエコな健康法は、よく噛んで食べること、そしてよく笑うことだと思います。どちらも免疫力を高めるらしい。けど、簡単そうでなかなか難しく、分かってはいても実行できずにいます。(Y)

▼我が家の観賞魚(グッピー)、大きなおなかを抱えたグッピーのお母さんは正月にお産しました。親子共

に元気です。喝采! 観ると複数の小さな小さなグッピーの赤ちゃんは元気に泳ぎまわっています。強く生きてね! 真にほほえましいドラマを観せてくれたグッピーでした。(S)

▼車の免許を取得してから早5年。公共交通機関を利用することが多いため、免許を取ってから一度も運転したことがありません。しかし、今はどこへ行くのも車が必要になってきているので、エコな運転に気をつけつつも脱ペーパードライバーを目指します!(KS)

▼大阪府の消費拡大のために売り出されたぎょうさんこうたろう商品券。まんまとハマって家族分Get。そしてWiiを買いました。めっちゃ得した気分。何かを安く買えたりすると何でも嬉しいんだろう。やっぱり大阪のオバちゃんやわ(P)

**環境クイズの答** ウソ。2006年までの観測では、海水の熱膨張の影響の方が氷の融解の影響よりも大きい。IPCC第4次報告では海面上昇による熱膨張が50%強、その他の氷床融解は南極と北極の氷床融解も併せ3分の1程度でした。ただし、最近では氷河流動が加速しているため状況変化も予想されます。

## ご寄付のお礼

環境展開催にご寄付をありがとうございました。  
Rびんプロジェクト/ウータン・森と生活を考える会/暮らしの安全性を考える会・環境フォーラム市民の会/上下水道局/上下水道労組/田中産業(株)/東神電気(株)/豊中市歯科医師会/藤本電業(株)/リーブス/個人8人 (敬省略)

《広報チーム》

Z奥野、H岡、Y小村、S猪尾、KS長橋、P大村

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~toyonaka/>  
Eメール [ecoshimin@kmd.biglobe.ne.jp](mailto:ecoshimin@kmd.biglobe.ne.jp)